

校区交流会議通信

令和2年
1月発行

～一人ひとりがその人らしい生き方を実現することのできる富田林～

校区交流会議通信の発行にあたって

発行にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

さて、本市では平成29年3月に、「増進型地域福祉づくり～一人ひとりがその人らしい生き方を実現することのできる富田林～」を基本理念とした「第3期地域福祉計画」を、富田林市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」とともに協働策定いたしました。

「増進型地域福祉」とは、「福祉」本来の意味である「幸福」を地域で実現するため、地域の理想を描き、その理想の実現にむけて地域住民と専門職等が力を合わせてとりくんでいく「目的実現型」の地域福祉を言います。本市では具体的なとりくみとして、各小学校区ごとに「校区交流会議」を開催し、地域の皆様方に地域の課題や理想について話し合っただき、理想の地域の実現にむけた校区プログラムの実施に、とりくんでいただいております。

今回の「校区交流会議通信」は、各校区におけるとりくみや地域ごとの交流の様子を、市民の皆様にもっと知っていただきたいとの思いで発行させていただきました。この機会に「校区交流会議」のとりくみを知っていただき、また校区プログラムにもご参加いただければと思います。

私は市長として「市民とともに作る。市民が幸せになる。市民本位の市政。」の実現にむけて、今後とも「増進型地域福祉」の推進に力を注いでいく決意ですが、どうぞ市民の皆様方のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



富田林市校区交流会議 全校区交流会を開催しました

令和元年8月22日（木）すばるホール銀河の間にて全校区交流会を開催しました。

当日は16小学校区合わせて162名もの多くの方の参加がありました。

校区プログラムの事例報告では、喜志小学校区、新堂小学校区、東条小学校区、高辺台小学校区の4校区から避難所運営ゲームや校区新聞の発行、世代間交流等地域のみんなで知恵を出し合ったユニ

ークな取組みが各校区から報告され、桃山学院大学社会学部教授であり富田林市地域福祉推進委員長である小野達也教授より今後の活動に向けてのアドバイスをいただきました。その後の各校区交流会では、それぞれの校区で新たな取組みに向けての意見や地域の課題について意見交換が行われ、時間が来ても話が尽きず、熱く盛り上がる交流会となりました。



東条小学校区の発表



桃山学院大学 社会学部 小野達也 教授

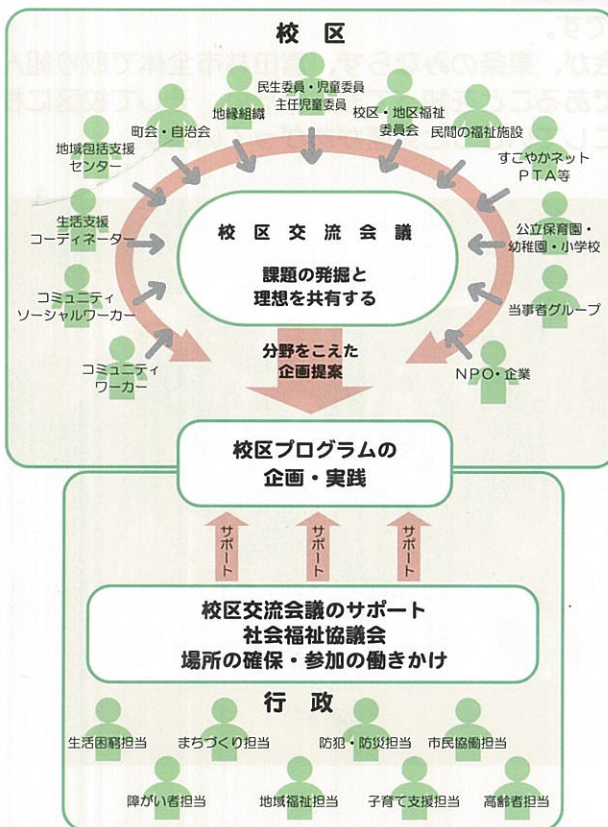


各校区交流会

校区交流会議とは

校区交流会議とは、第3期地域福祉計画で掲げられている重点プロジェクトのひとつであり、小学校区を単位として、地域の住民や福祉活動団体、福祉専門機関等、さまざまな主体が参加し、地域の課題を共有するとともに、地域の理想について話し合い、地域のことを自分のこととして考え、その理想の姿の実現に向けて事業・活動計画（校区プログラム）を企画・実践します。校区交流会議の進捗段階として、①地域の課題を出し合い②理想の状態を描き③具体的な校区プログラムを作り④事業・活動に取り組む、という4段階があり、「理想を描けるか」が重要になります。これまでの問題の発生原因を特定し、それを除外することで元の状態に戻すという問題解決型から、どのようになれば良いかという理想を描いて、その実現を目指す目的実現型への考え方の転換が必要となります。

市及び社会福祉協議会は、地域課題を共通認識し、地域住民が協力し合い助け合い、地域の主体性を育みながら取り組んでいけるよう市民のみなさんと共に協働していきます。



増進型地域福祉校区交流会議のイメージ図



校区活動紹介

喜志 小学校区

平成30年12月2日（日）喜志小学校にて世代間交流イベント「ふれあい祭」を開催しました。企画メンバーは福祉委員会、民生委員、福祉施設、小学校など幅広い構成となっております。プログラムのきっかけは、喜志小学校区の特徴として地縁組織の結びつきが強いが故に各町の横の繋がりが希薄化している課題がありました。そこで、世代間交流イベントを通して横の繋がりを強くしようと今回のプログラムが誕生しました。当日は喜志小学校にてパン食い競争やじゃんけん列車ゲームなどの交流型ゲームに加え、各種ミニゲームを実施しました。約200名の地域住民の方に参加して頂き、大盛況となりました。また、プログラムをきっかけに各団体との繋がりを深めることができました。今後も継続開催を目指しており、繋がりをさらに深めていけるように進めていきます。



新堂 小学校区

活動のきっかけは、近年の台風や大雨などの自然災害に危機感を感じ、日頃からの声掛けや挨拶などのコミュニケーションが、いざという時にいかに必要であるとの意見でした。そこで小学校・幼稚園・保育園・地域・福祉・医療関係、公共施設、子ども食堂などの各々の情報を1つにまとめた壁新聞を作成し、地域全体で情報を共有していくと、お互いに顔の見える関係づくりや、地域のコミュニケーション力も高めていくことを目的に取り組みました。皆さまから、定期的に情報を頂き、わがまちニュースとして『I♥新小校区』を校区内の集会所やスーパーなどに掲示させていただいています。今後も、アレンジしていきながら、発展的な活動にしていきたいと思っています。



東条 小学校区

東条校区は南北に長く、世代を超えたふれあいの場所や、機会も少ないとの意見がきっかけでした。今後更に、高齢化が進み若い人も減少していくことから、若い人でも住みやすい環境づくり、東条の魅力を発信していけるような機会を作ることを目標に有志が募りました。何度も議論を重ね、予算もない中で、場所の提供や、協力者を得て、はじめて企画が実現したのが、『東条 de フリマ』です。

校区交流会が、東条のみならず、富田林市全体で取り組んでいる実態であることを知ってもらいたい。そして校区に根付いた活動にしていこうと気運があがっています。



高辺台 小学校区

小学校を中心に近距離に高齢施設や保育施設、医療機関が点在する地域であり、小学校敷地内に集会所や福祉ルームが常設され立地による地域連携が図りやすい校区です。現在は学校行事への福祉委員会の参画やPTAを中心に「3つの朝運動」など活発に地域活動を行っていますが、他団体連携に至っていないことから、学校行事やPTA活動に福祉施設や地域住民が参加できる仕組みづくりをし、『世代間交流』の一端となる場作りとして校区プログラムを企画しました。子どもが楽しく遊べて大人から色々なことを学ぶ場として、平成30年12月9日（日）に老人福祉施設寿里苑夢の杜で『キッズ高辺クラブ』を開催しました。昔あそびや勉強を覚えてもらったり、焼きそばやたこせんを作ったり、地域住民や福祉施設の協力により楽しい時間となりました。今後も地域一体となって取り組めるプログラムを実施していきたいと思っています。



※今後各小学校区の活動を紹介していきます。

※校区交流会議に参加してみたい等ご興味のある方は市地域福祉課（0721-25-1000 内線283）までご連絡ください。